

年末年始の休館のお知らせ

12月29日(木)～1月3日(火)

上記の期間中、図書館はお休みをいただきます。

休館中の返却はブックポストをご利用下さい。

AV資料（CD・DVD・複製絵画・おもちゃ）

大型絵本は、破損の恐れがあるため、図書館が開館してから、カウンターへご返却ください。



休館日

12月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

1月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

■ は本館の休館日です

* 年末年始のお休みは12月29日(木)～1月3日(火)です

12月のギャラリー

12月のギャラリーはありません

編集後記

11月末に関東で雪が降るなど、急激に寒くなりました。毎年乾燥で喉を傷めてしまうのですが、そろそろインフルエンザの予防接種にもいかねば、と思う毎日です。みなさんもお体ご自愛くださいね！（お）

けやきどおり通信 (No.279)

編集・発行 碧南市民図書館

〒447-0057

碧南市鶴見町1-70-1

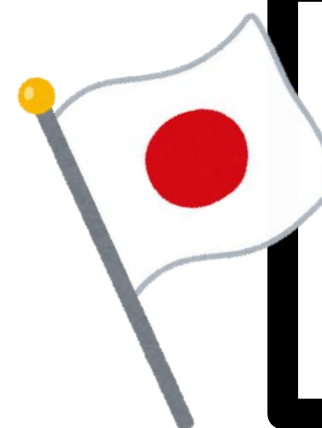
TEL: (0566) 41-0894



けやきどおり通信



2016年12月 ～NO. 279～



国の顔 ～Who's Who～

世界中が注目していたアメリカ合衆国大統領選が決着し、大方の予想を裏切り、第45代大統領にドナルド・トランプ氏が選出されました。

今月は、新旧の大統領や首席・議長など、国を代表する顔ともいえる人たちにスポットを当てた本を特集します。

『総理』

山口敬之/著 幻冬舎 (312p)

宰相とはどんな仕事なのか、安倍晋三とはどんな人物なのか。現総理と安倍政権のキーマンたちの言動から、政権中枢のドラマを描く。

『美しい国へ』

安倍晋三/著 文藝春秋社 (310p)

次期総理候補であった当時の著書。保守・外交・社会保障や教育の再生など、自身の政治哲学について綴る。

『マイ・ドリーム バラク・オバマ自伝』

バラク・オバマ/著
ダイヤモンド社(289.3マ)

アフリカからの一本の電話で、すべてははじまった…。黒人初のアメリカ大統領となったオバマの半生を振り返る回顧録。

『大統領になりそこなった男たち』

内藤陽介/著 中央公論新社
(312ダ)中公新書

大統領選で破れた人の中にも、歴史に名を残した男たちがいた。8人の“大統領になりそこなった”偉大な人物を追う。

『トランプ熱狂、アメリカの「反知性主義」』

宮崎正弘/著 海竜社(312ト)

『トランプ革命』 あえば直道/著 双葉社(314ト)

『アメリカに女性大統領は誕生するか』

蓮見博昭/著 日本評論社(367.2ア)



『プーチンの実像 証言で暴く「皇帝」の素顔』

朝日新聞国際報道部/ほか著 朝日新聞出版(312フ)
ロシア連邦大統領であるプーチンの素顔を知る人の証言から、その実像に迫る。彼は独裁者か、それとも英雄か？

『世界最強の女帝』

佐藤伸行/著 文藝春秋
(312セ)

「世界最強の女」「EUの大統領」と呼ばれるドイツのメルケル首相。だが、彼女は派手なパフォーマンスもなければ、けして演説が得意なわけではなかった。東ドイツの物理学者だった彼女が、いかにして「女帝」の座に着くまでに至ったのか。

『朴槿恵<パク・クネ>の挑戦』

李 相哲/著 中央公論新書(289.2パ)

渦中の人である韓国大統領パク・クネ。彼女の来歴から思想までを豊富な資料からその人物像に迫る。

『蔡英文
新時代の台湾へ』
蔡英文/著
白水社(312ツ)

台湾初の女性総統の過去の選挙敗北から未来を模索した3年間の軌跡をたどる。

『冒険者カストロ』 佐々木譲/著 集英社(289.3ボ)

革命により、キューバを社会主義国家へとつくりかえたフィデル・カストロとは何者なのか。キューバでの取材を踏まえながら、彼の生い立ちを踏まえつつ、実像に迫るノンフィクション。

『悪役 世界でいちばん貧しい大統領の本音』

アンドレス・ダンサ/著 エルネスト トゥルボヴィッツ/著
汐文社(289.3ア)

ウルグアイの第40代大統領、ホセ・ムヒカ。国連会議で「世界でいちばん貧しい大統領」として注目を集めた彼が、大統領を退いた今だから言える本音とは。

『北の後継者キム・ジョンウン』

藤本健二/著 中央公論新社(289.2キ)中公新書
北朝鮮の前指導者だった金正日。その料理人だった著者が間近に接した、当時「次期指導者」であった金正恩とは、どんな人物なのか…。

『アウンサンスーチーのマンマー』

房 広治/著 木楽舎(289.2ア)

先日、来日し話題となったアウンサンスーチー国家顧問兼外相。かつてオックスフォードのスーチー氏の家に下宿をしていた著者が、彼女と自身のこれまでを振り返り、マンマーの未来に思いを馳せる。

Merry Christmas
Happy New Year

クリスマスにお正月。
イベント目白押しの
年末におすすめの本を
小特集！

★『13番目の贈りもの』 ジョアン・フィスト・スミス//著 東洋出版(936ジ)

愛する夫が亡くなり、悲しみにくれる妻と3人の子どもたち。クリスマスを控えたある日、彼らのもとに届いたのは、1鉢のポインセチアだった。それから毎日、小さな贈り物が届き始め…。



★『サンタへの手紙』 メアリー ハレル=セスニアック//選
クロニクルブックスジャパン(386サ)

クリスマスの黄金時期だった1870年から1920年までに、子どもたちがサンタへ宛てて書いた手紙125通を紹介します。

☆『おしゃれな和の年賀状』 日貿出版社/編 鮎裕/ほか著 日貿出版社(724オ)

6名の作家による「和」のテイストいっぱいの年賀状を多数収録しています。心を込めた年賀状は、大切な人にきっと届きますよ！

☆『小さなお重のおせちと、お正月のつまみ。』 田中優子/著

アスキー・メディアワークス(596.4千)

裏ごしいらずの「きんとん」に、鮭の切り身の「昆布巻き」。小さなお重を使えば誰でも盛りつけ上手になります。手軽なワザを使って、すてきなおせちを作りましょう。

欄にないときは、ご予約をどうぞ！ それではみなさん

良いお年をお迎え下さい！

